

平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会  
第1回スポーツ部会議事録

1 日時：平成27年5月21日（木）13：00～16：00

2 場所：千葉市中央コミュニティセンター5階 講習室1

3 出席者：

(1) 委員

横山 清亮委員（部会長）、織戸 正道委員（副部会長）、  
内山 英昭委員、小川 直哉委員、谷藤 千香委員

(2) 事務局

丸島生活文化スポーツ部長  
山根市民総務課長、佐久間市民総務課長補佐、宮本主査、石垣主事、  
山本主事  
安藤スポーツ振興課長、山崎スポーツ振興課長補佐、菅野主査、常泉主任主事、  
岡崎主事

4 議題：

(1) 部会長及び副部会長の選出について

(2) 平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について

ア 千葉市大宮スポーツ広場について

イ 千葉市宮崎スポーツ広場について

ウ 千葉ポートアリーナについて

(3) その他

5 議事概要：

(1) 部会長及び副部会長の選出について

委員の互選により、横山委員を部会長に、織戸委員を副部会長に選出した。

(2) 平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について

ア 千葉市大宮スポーツ広場について

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、  
意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」につ  
いて事務局から説明の後、意見交換を経て事務局案を承認するとともに、次期指定  
管理者の選定に向けた意見を部会として取りまとめ、決定した。

イ 千葉市宮崎スポーツ広場について

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意

見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を部会として取りまとめ、決定した。

#### ウ 千葉ポートアリーナについて

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を部会として取りまとめ、決定した。

#### (3) その他

議事録の公開について、事務局から説明した。

## 6 会議経過：

○佐久間市民総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

それでは、定刻となりましたので、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回スポーツ部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、市民総務課の佐久間でございます。どうぞ、よろしく願いいたします。本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づきまして、公開されております。傍聴人の方におかれましては、傍聴人要領に記載されている事項を順守されるようお願いいたします。なお、本日は、地球温暖化防止の一環といたしまして、職員は軽装とさせていただきますので、ご了承ください。

続きまして、委員の方のご紹介でございますが、お手元のファイルの資料2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会委員名簿」をご覧ください。名簿順に委員の皆様をご紹介させていただきます。

まず、千葉市学校体育施設開放運営委員会連絡協議会会長の、内山 英昭委員さんでいらっしゃいます。

千葉市体育協会副会長の、小川 直哉委員さんでいらっしゃいます。

公認会計士の、織戸 正道委員さんでいらっしゃいます。

千葉大学教育学部准教授の、谷藤 千香委員さんでいらっしゃいます。

弁護士の、横山 清亮委員さんでいらっしゃいます。

続きまして、事務局の職員につきまして紹介させていただきます。生活文化スポーツ部長の丸島でございます。

スポーツ振興課長の安藤でございます。

市民総務課長の山根でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、生活文化スポーツ部長の丸島からご挨拶を申し上げます。

す。

○丸島生活文化スポーツ部長 生活文化スポーツ部長の丸島でございます。本日は皆様方、お忙しい中、市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。また、日頃から、市政全般にわたりまして、皆様方にご支援とご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

本日は、スポーツ施設のうち、大宮スポーツ広場、宮崎スポーツ広場、千葉ポートアリーナの指定管理者の管理運営に関する評価をお願いするとともに、今年度が今期の指定期間の最終年度になりますので、全体の総合評価ということも合わせてお願いしたいという議事になっております。また、スポーツ施設はこれだけではなくて他にもたくさんございます。また、他の施設についても評価をお願いすることになると思いますし、また今申し上げましたように、指定期間が今年度で終わります。また次期の指定管理者の方も選定をお願いすることになりますので、今年度は大変回数が多くて恐縮でございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本日はいつもより涼しい感じですので、過ごしやすいと思いますが、よろしくお願いいたします。

○佐久間市民総務課長補佐 それでは議事に入ります前に、改めまして、資料の確認をさせていただきます。

まず、ファイルに綴じていない資料で、「諮問書の写し」と「次第」、「席次表」がございます。続きまして、ファイルに綴じてある資料を、資料一覧に沿いまして確認をさせていただきます。資料1が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回スポーツ部会進行表」。資料2が、「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会委員名簿」。資料3が、「スポーツ部会で審議する公の施設一覧」。資料4が、「千葉市大宮スポーツ広場」の平成26年度評価に関する資料で、4-1が「指定管理者評価シート」、4-2が「事業計画書」、4-3が「事業報告書」、4-4が「計画書類等」でございます。資料5は「千葉市大宮スポーツ広場」の総合評価に関するものでして、5-1が「総合評価資料」、5-2が「総合評価シート(案)」でございます。資料6と7は「千葉市宮崎スポーツ広場」に関するもので、資料6が平成26年度評価に関する資料、資料7が、総合評価に関するもの、資料8と資料9は「千葉ポートアリーナ」の資料でございまして、資料8が平成26年度評価に関するもの、資料9が総合評価に関するものでございます。資料の内訳は、「千葉市大宮スポーツ広場」と同一でございます。続いて、参考資料でございます。参考資料1が、「千葉市大宮スポーツ広場」の平成23年度から25年度までの指定管理者評価シート。参考資料2が、「千葉市宮崎スポーツ広場」の平成23年度から25年度までの指定管理者評価シート。参考資料3は、「千葉ポートアリーナ」の平成23年度から25年度までの指定管理者評価シート。参考資料4は、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」。参考資料5が、「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録等の作成について」。参考資料6が、「部会の設置について」でございます。以上の資料をお配りしております。不足等ありましたら、お申し出ください。

よろしいでしょうか。それでは続きまして会議の成立についてご報告させていただきます

す。本日は全ての委員さんにご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第7項において準用いたします第10条第2項に基づき、会議は成立しております。

それではこれより、議事に入らせていただきます。部会長が決定するまでの間、生活文化スポーツ部長の丸島が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○佐久間市民総務課長補佐　それでは丸島部長、議事進行をお願いいたします。

○丸島生活文化スポーツ部長　それでは、本日は最初の部会ということでございまして、部会長が決まるまではですね、私の方が仮議長ということで会議の進行を務めさせていただきます。よろしくをお願いいたします。

それでは議題1「部会長及び副部会長の選出について」に入らせていただきます。まず、部会長の役割としてですが、本部会の議長を務めていただくほか、部会の招集、議事録の承認等、部会を代表していただきます。また副部会長につきましては、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理していただくことになっています。

まず、部会長の選出を行いたいと思いますが、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第4項に基づき、互選により選出したいと思います。どなたか、立候補または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

○内山委員　すみません、横山委員さんにやっていただきたいなと思うんですけど。

○丸島生活文化スポーツ部長　内山委員さんから、横山委員さんはいかがでしょうということですが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○横山委員　やらさせていただきます。

○丸島生活文化スポーツ部長　それでは、横山委員さんを部会長にお願いしたいと思います。それでは横山委員さん、部会長席へお願いいたします。

では恐縮ですが、部会長就任ということで一言挨拶いただければと思います。

○横山部会長　部会長をやらさせていただきます、横山です。よろしくをお願いいたします。

○丸島生活文化スポーツ部長　それでは部会長が選出されましたので、これより議事進行は横山部会長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○横山部会長　それでは、次第に従いまして議事を進行してまいります。ご協力のほど、よろしく申し上げます。

副部会長の選出を行いたいと思います。こちら、互選により選出することとありますが、どなたか、立候補または推薦される方はいらっしゃいますか。

○内山委員　はい、織戸委員さんにお願いしたいなと思うのですが。

○横山部会長　はい。いま、織戸委員さんの副部会長への推薦がありましたがいかがでしょうか。

○織戸委員　承知しました。

○横山部会長　他にご意見等ございませんでしょうか。そうしましたら織戸委員に副部

会長をお願いするというので、一言、挨拶をお願いいたします。

○織戸委員 新任の常任委員の織戸です。どうぞよろしくお願いいたします。

○横山部会長 ありがとうございます。続きまして議題2「平成26年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について」に入らせていただきます。

まず、年度評価及び総合評価の概要について、事務局から説明をお願いします。

○山根市民総務課長 はい、それでは私から説明させていただきます。まず始めに、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価の概要についてご説明をさせていただきます。

まず、評価の目的でございますが、指定期間中の各年度終了後に履行状況の確認を行い、また、選定評価委員会へ報告することによって、委員の皆様からのご意見をいただく機会を設けまして、次年度以降の管理運営をより適正に行うために実施するものでございます。

次に、評価の方法でございますけれども、市が現地視察、ヒアリング等を通じて行ったモニタリングの結果、指定管理者による自己評価、指定管理者からの報告書などを踏まえまして、「指定管理者評価シート」、いわゆる「年度評価シート」を作成いたします。

ここで評価シートの実物をご覧くださいと思います。資料4-1をご覧ください。評価シートは大きく6つの項目で構成されております。まず1番目に「基本情報」。2番目に主な実施事業や利用状況、収支状況などの「管理運営の実績」。次のページに入りまして、3番目に、指定管理者が行ったアンケート調査の結果など「利用者ニーズ・満足度等の把握」。次に、4番目に「指定管理者による自己評価」。5番目に、市が履行状況を確認し、評価を行う「市による評価」。3ページにあります6番目として、委員会から答申していただいた意見を掲載いたします「市民局指定管理者選定評価委員会の意見」の欄となっております。

ここで、委員の皆さまからのご意見をいただくにあたって、ポイントになります、「5 市による評価」について詳しくご説明をいたします。2ページの上の方に「履行状況の確認」という欄がございます。こちらには「募集要項」、「管理運営の基準」、「基本協定書」、「提案書」で定められている仕様のうち、市による定期的な確認が必要な項目を記載しています。市によるモニタリング等によりまして、これらの項目の履行状況を確認し、その結果を、3段階で評価しており、「仕様、提案を上回る実績・成果があった」場合には3を、「仕様、提案どおりの実績・成果があった」場合は2を、「仕様、提案どおりの管理運営が行われなかった」場合は1を記載しております。その結果を踏まえまして、2ページの一番下でございます、「市による評価」では、「仕様・事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われていた」場合はSを、「概ね仕様・事業計画通りの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた」場合はAを、「仕様・事業計画通りの実績・成果が認められず、管理運営に関して改善を要する事項があった」場合はBを記載し、3段階の評価をしております。

以上により、市で作成した「指定管理者評価シート」と指定管理者から提出された「事業報告書」、「計算書類等」などの資料を基に、選定評価委員会より、当該指定管理者による「施設管理運営のサービス水準向上・業務効率化の方策」、「改善を要する点」や、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するため、当該指定管理者の「財務状況」などに対す

るご意見をいただきます。

最終的に、そのご意見等の中から、部会としての意見を取りまとめていただき、それを、部会長より選定評価委員会会長にご報告いただいた後、委員会会長より市に対し、答申をしていただきます。なお、答申でいただきましたご意見は、先ほど説明しましたとおり、評価シートの「6 市民局指定管理者選定評価委員会の意見」欄に記載をいたします。また、評価結果の取扱いでございますけれども、指定管理者による管理運営の改善・効率化に向けた取組みを促進するため、当該指定管理者に通知するとともに、選定評価委員会のご意見を記載した「年度評価シート」につきましては、市のホームページ上で公開をいたします。以上が年度評価でございます。

続きまして、指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価の概要について、ご説明をいたします。総合評価とは、各年において実施しました年度評価を踏まえ、指定期間の最終年度において指定管理者選定評価委員会で行うものであり、現指定管理者の管理業務の総括のため、評価を行うものでございます。

次に、評価の進め方でございますが、まず、過年度の評価結果等を踏まえ作成しました「指定管理者総合評価シート(案)」、現物としては資料5-2が例でございます。その「指定管理者総合評価シート(案)」について施設所管課よりご説明させていただき、委員の皆様には、この総合評価について、「評価の妥当性」をご審議いただくとともに、サービス水準の向上、あるいは業務の効率化などの観点から「次期指定管理者の選定に向けてのご意見」をいただきたいと考えております。説明は以上でございます。

○横山部会長 はい、ありがとうございます。ただ今の事務局からのご説明につきまして、何かご質問はございますか。新任の委員さんも大丈夫ですかね。

それではまず、千葉市大宮スポーツ広場の年度評価についてご審議いただきます。施設所管課さんより説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 スポーツ振興課の安藤でございます。よろしくお願ひいたします。では、座ってご説明させていただきます。

それでは、資料4-1をご覧になっていただきたいと思ひます。資料4-1「平成26年度指定管理者評価シート」でございます。

まず、「1 基本情報」の欄ですが、施設名は「千葉市大宮スポーツ広場」、指定管理者は千葉市大宮スポーツ広場管理運営委員会であり、指定期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」はご覧の通りでございます。「(2) 利用状況」についてですが、「①利用者数」は1万7,348人で、前年度比は94.3%となっております。「②稼働率」は60.2%で前年度比は4.1%減となっております。「(3) 収支状況」ですが、「①収入実績」が225万2千円に対しまして、「②支出実績」が227万7千円。「③収支実績」といたしましては、2万5千円の赤字となっております。原因といたしましては、主に人件費・事務費の増加によるものでございます。

「(4) 指定管理者が行った処分の件数」は、ご覧の通りでございます。次のページをお願いいたします。「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましては、ご覧

の通りでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてですが、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」です。「①アンケート調査の実施内容」ですが、11月15日から1か月の間、施設の窓口でアンケート用紙を配布し、回答者数は101人でした。質問項目は、お住まい、年齢等の5項目でありまして、「②調査の結果」につきましては、「ア住居」につきましては、若葉区が94.1%と地元の方に多く利用されております。「イ年代」につきましては、60代・70代の利用者が86.3%を占めております。「ウ 利用頻度」につきましては、4月から12月の間に、11回以上利用されている方が、78.4%となりまして、常連利用者が多い傾向にございます。「エ スタッフの対応」については、「とても良い」「まあ良い」が全体の99.0%を占めておりまして、高い評価となっております。「オ 施設の満足度」につきましては、全ての利用者が今後も利用したいという結果となっております。「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」についてですが、テニスコートの修理について複数の方から要望がありました。本年3月に市のほうで修繕を実施いたしました。次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」ですが、平成26年度はございませんでした。

次に、「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も概ね計画書通りでありました。

次に、「5 市による評価」ですが、評価はAといたしました。理由といたしましては、若干の利用者減があったものの、アンケートの結果、利用者から高い満足度を得ていると認められること。利用者の要望に応じて、小破修繕等、簡易な補修を行っており、利用環境の改善に努めた。維持及び管理運営について、概ね事業計画書通り行われているからであります。

3ページでございます。次に、「履行状況の確認」ですが、全ての項目におきまして、仕様、提案通りの実績・成果が認められたため、全て2としております。したがって、合計は32点。平均が2.0点であります。平成26年度の指定管理者評価シートの説明は以上でございます。

○横山部会長 はい、ありがとうございます。ただ今、施設所管課から説明がありましたが、年度評価では指定管理者の倒産・撤退のリスクを把握することとなっており、これから計算書類等を基に指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行います。計算書類等の中で、一般には公開されていない法人等情報を含んでいる場合には、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書の規定により、会議は非公開といたしますが、当該施設の指定管理者である千葉市大宮スポーツ広場管理運営委員会の計算書類等には法人等情報が含まれていないと判断されるため、公開のまま会議を行います。

それでは、公認会計士である織戸委員より、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等を基にご意見をいただきたいと思います。

○織戸委員 はい。資料4-4、1枚めくりますと、平成26年度財務諸表、もう1枚めくりますと、貸借対照表。その次に、収支計算書。最初に、収支計算書を見てまいりま

すと、26年度の収入合計が、227万9,187円。支出合計、一番下から2つ上の管理運営経費、①+②、これが227万6,280円。これだけかかりましたので、次年度繰越金として2,907円。これが、余りました。次年度に繰り越されず、という数字です。ほぼ収支、とんとんですね。前年、前々年の数字も見てみましたが、ほぼ同じような数字で推移しております。次に1枚戻りまして貸借対照表。資産、とても簡単ですが、現金預金が6万2千円。千円単位で申し上げます。未収金が18万7千円。固定資産がゼロ。資産合計が、25万円。これに対して負債、負債合計が、24万7千円。資産から負債を引きました純資産が2千円。ここでも、まずやっていけるという状態です。貸借対照表につきましても、前年、前々年の数値を見ましたら、大きな変動はありません。従いまして、この3年間でいうと、支出の中身をちょっと見てみます。ごめんなさい、収支計算書の(2)支出を見ますと、人件費、①の項目にある人件費180万とあります。次に大きいのが管理費、35万8千円ですが、その内訳が次のページに出ております。横になっておりますが、35万円のうち、大きなものは、施設管理費のテニス場ネット支柱他が9万9千円、その下、野球場グラウンド環境整備費13万8千円、そして管理棟の屋根塗装費12万円と、維持管理に通常考えられる程度のものでかかっております。従いまして、問題となるようなものは特にないと考えられます。倒産・撤退のリスクは、まずないと判断して良いと思います。私からは以上です。

○横山部会長 はい、ありがとうございます。ただいまの財務状況の意見について、委員の皆様から何かご質問等はございますでしょうか。

ちょっと確認させていただきたいんですけれども、収支計算書の次年度繰越金が発生しておりますけれども、結果的には貸借対照表の純資産と一致するということになる。

○織戸委員 そうですね。

○横山部会長 逆に繰越金は純資産として計上する。

○織戸委員 そうですね。

○横山部会長 わかりました。他に、ご意見は、よろしいでしょうか。あまり問題があるような指定管理者ではないということでもよろしいでしょうか。

そうしますと、本部会の財務状況に関する意見としましては、財務状況については計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、財務状況については特に問題なく、倒産・撤退のリスクはないと判断して良いということでもよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 これを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などについて、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますでしょうか。その前提として、ご質問があればどうぞ。お願いします。

よろしいでしょうか。



私から何点かお聞きしたいんですけれども、まず、この大宮スポーツ広場なんですけれども、稼働率の方が低下しているようなんですが、その原因としてはどういったことが考えられるのでしょうか。

○安藤スポーツ振興課長 はい。稼働率の低下の原因ですが、こちらの方は明確な分析が出来ておりません。しかしながら、場所がですね、大宮団地の外れにありまして駐車場のない施設でございます。利用される方がやはり60代、70代がほとんどということがありまして、交通アクセスの便等を考えますとですね、なかなか他の地区から入って行きづらい場所でありまして、当該団地の年齢構成がどんどん上がっていく中で、高齢化というものが、やはり、一番の原因になるのではないかという風に考えております。

○横山部会長 はい。ありがとうございます。まだいくつかあるんですけれども、最終的には、単年度では赤字が出ておりまして、繰越金で対応できたと思うんですけれども、さらに次年度も同じような状況になると大変かと。正直思うんですけれども、その場合はどうやって填補するのですか。

○安藤スポーツ振興課長 今まで赤字が出た場合は、繰越金で対応いただいていたわけなんですけど、指定管理委託料の範囲内で管理をやっていただくということになりますので、そういった形の運営になるように指導していきたいと思っておりますし、あと小破修繕を自前でやっていた部分もございます。この部分について、本来であれば市がやるべきものも肩代わりしてやっていたおるものもありますので、こういったところも市でやることによりまして、運営の方は良好な運営を確保できるものと考えております。

○横山部会長 では、特に心配はないということでしょうか。

○安藤スポーツ振興課長 はい、心配は無用です。

○横山部会長 はい、分かりました。ご意見いただきたいと思いますが。谷藤委員、いかがですか。

○谷藤委員 使う人たちが使いやすいように運営はされていると思いますので、だんだん繰越金が少なくなるところだけ少し気にはなったのですが、その、修繕で心配がないということであったのであれば、良いと思います。

○横山部会長 改善提案はありますか。

○内山委員 改善策というわけではありませんが、利用者が少ないので、そこをいかにしてどうしていくかを考えていかないといけないと思います。若葉区が一番高齢化が進んでいるのが大宮地区なんです。そういったことを考えていかないとこれから厳しい運営になってしまう。

○横山部会長 指定管理者にそういったことを考えてもらいたいということですね。

○内山委員 そういうことですね。

○横山部会長 小川委員さんはいかがですか。

○小川委員 私もこれを見て、70代以上が61.8%もあるとびっくりしました。元気は元気なんですけども、高齢化社会ですよ。だんだんじり貧になってしまう。今委員がおっしゃったように、これをどうしていくかという。どんどん減っていつてしまうのではないかというのがひとつ。

○横山部会長　やはり同じように、その点については、指定管理者として考えていただきたいと。

○小川委員　そうですね。

○横山部会長　谷藤委員は、大学関係にお詳しいということで、学生さんには、やはりテニスコートの利用のニーズはあるんですかね。

○谷藤委員　そうですね。立地がキーになるかなという風に思います。

○横山部会長　学生、若年層に対するアピールは何かありますか。

○谷藤委員　若年層までいかななくても、中間くらいの年代の人たちがもう少し使うようなプロモーションが何かできればと思います。70代くらいの方が、だんだん少なくなると思うので、40代、50代くらいでターゲットにする方が、20代、30代よりは現実的かというふうに思います。

○横山部会長　織戸委員は特にございませんか。

○織戸委員　特にはございません。

○小川委員　これは主婦の方、いわゆるテニスって主婦の方の使用が多いように思うんですけど、ここの施設はあんまり使われていないんですね。年代みても。

○スポーツ振興課　テニスコートにつきましては、野球場もあるんですが、全体的に高齢者が多いという現状です。

○横山部会長　市の方にお伺いしたいんですけれども、市政だよりで広報することは可能なんですか。このスポーツ広場の存在を。

○安藤スポーツ振興課長　市政だよりにつきましては、イベントですとかいろんな行事、手続等を掲載するのが基本でありまして、施設の紹介というものだけでは掲載の基準には一致してこない。そこで何かイベントがあれば案内というかたちでの広報は載せられます。

○横山部会長　周知する手段がなかなかあまりないですね。

ご意見としては以上でしょうかね。委員の皆様から、様々な意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見といたしましては、「多少の稼働率の低下がみられるものの、概ね良好な施設運営が行われていると考えられる。」「高齢化が進む地区にあるので、利用者の増加等につながる方策に努められたい。」及び、「若年から中間、40代、50代の方に向けた利用者の増加のためのPRに努められたい。」という意見がございました。これらを踏まえて本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長　それでは、先ほどの財務状況も含めて千葉市大宮スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細については私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長　ありがとうございました。では次に、総合評価について、ご審議いただきます。所管課から説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長　それでは、総合評価について、ご説明いたします。それでは資料5-1「指定管理者総合評価資料」をご覧くださいと思います。「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1)業務の概要」につきましては、ご覧のとおりです。次に、「(2)利用状況」についてご説明をいたします。「①利用者数」と「②稼働率」についてですけれども、指定期間当初からの推移について、表にまとめております。ご覧いただいている通り、23年度以降、年々利用者、稼働率ともに減少しております。

次に、「3 利用者意見への対応状況」でございますけれども、意見や苦情に対し適切に対応を行っております。

次のページをご覧ください。「4 収支状況」について説明いたします。「(1)過年度の収入・支出状況」ですが、表の一番下にあります「収支」をご覧くださいと思います。平成23年度、3万5千円の赤字、24年度は1万6千円の黒字、25年度は、1万8千円の赤字、26年度は2万5千円の赤字ということでトータルの収支は、6万2千円の赤字ということになっております。「(2)管理経費の縮減に係る取組み」ですが、事業計画に沿いました維持管理及び運営を行いまして、運営に支障をきたさない範囲で事務費や管理費の削減に努めております。

次に、資料5-2「指定管理者総合評価シート」をご覧ください。「1 基本情報」については、ご覧のとおりとなっております。

次に、「2 総合評価」の「(1)過年度の管理運營業務に対する評価」についてご説明をいたします。まず、「1 市民の平等な利用の確保 施設の適正な管理」についてですが、「関係法令等の遵守」や「モニタリングの考え方」、「公正な利用受付」について概ね事業計画通り履行してございまして、利用者アンケートにおいても全ての利用者が満足となっていることから、Aと評価いたしております。次に「2 市民サービスの向上」についてですが、それにつきましては、相談や苦情に対して適切に対応していること、利用者を対象としたアンケートの結果9割以上の利用者がスタッフの対応に対して満足していることなどからAと評価しております。次に、「3 施設の効用の発揮 施設管理能力」については、設備の管理・補修について適宜対応しており、管理体制についても概ね事業計画通り実施されていることからAと評価しております。次に、「4 管理経費の縮減」ですが、支出・収入に関して概ね事業計画通り実施されていることから、Aと評価しております。

最後に、総合評価につきましては、「概ね事業計画どおりの実績・成果が認められた」との判断し、Aとしました。

以上でございます。

○横山部会長　ありがとうございました。ただいま所管課から一通り説明をいただき、大宮スポーツ広場の総合評価につきまして「評価案」が示されましたが、まず始めに、この市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様からご意見をお聞きしたいと思います。ご質問も含めて、何かございましたらお願いします。

○谷藤委員　非常に申し訳ない質問なんですけど、多目的広場はどんな感じなのでしょう。

○横山部会長　関連して私も質問をしたんですけど、ほとんど稼働していな

い状態なんですけれども、その理由というのは。

○安藤スポーツ振興課長 多目的広場という名前でおりますが、以前はですね、土のバレーボールコートでございます。そのぐらいの広さでございます。屋外でバレーボールをやっている団体がいなくなりまして、支柱をどかしてですね、多目的広場と称しているわけですが、その広さで行える種目というのがなかなか無くてですね、いろんな球技につきましては、野球場の方で皆さん、やられているようでして、広場の方の利用がなかなか進まないという状況でございます。

○横山部会長 ゲートボールも出来ないということですか。

○安藤スポーツ振興課長 ゲートボールは出来ますので、実際にやられていますけれども、ゲートボール自体も最近はグラウンド・ゴルフが主流となってきたことから、利用が進まない状況でございます。

○横山部会長 はい、ありがとうございます。他に何かご質問ある方はいらっしゃいますか。

○内山委員 結局、先ほどのお話の通り、年々利用者が減って。そうすると総合評価になりますと、「管理経費の縮減」というところで、赤字でもAとなっていますけど。実際赤字が続いても「収入見積の妥当性」とかAでいいのかなど。理由を教えてください。

○横山部会長 では、市がAと評価した理由を説明していただいてもよろしいでしょうか。

○安藤スポーツ振興課長 Aの理由ですけれども、収支につきましては、指定管理者、我々の指定管理委託料の中で、黒字を出したり赤字を出したりというような形で。ずっと非公募でやっている施設でございます。以前に黒字を出したのにつきまして、黒字をずっとため込んで繰越金を増やしていくというのはあまり健全な経営ではございませんので、増やした繰越金を使いながら、5年サイクルもしくは、非公募ですので10年サイクルで収支が合うようにという形で運営していただきたい。そういった面からAとしたものでございます。

○横山部会長 よろしいでしょうか。

私の方からは市の評価の妥当性についてなんですけれども、この施設は施設利用者が年々減少していく傾向にあるんですけれども、評価シートを見る限りにおいてはですね、それについての問題意識が読み取れないんですよ。ですので、評価シートだけを見れば、これからも今まで通りやって下さいという風な、市の評価に見えてしまう。ちょっとそこが物足りないかなど。多少、利用者増について、何か、市として評価しないのであれば私どもですべきなのかなという気がします。意見です。織戸委員さんいかがですか。

○織戸委員 その点につきましては、私も同感ですので、載せられるのでしたら良いかと思えます。

○横山部会長 最終的には選定評価委員会の意見として。小川委員さんいかがですか。

○小川委員 私もですね、相対的に利用者が減ってきているのはいかがなものかと思う。多目的広場のゼロって数字が2年ほどありますよね。そこはちょっと、附帯意見として必要ではないかなと思います。

○横山部会長 多目的広場の利用方法について、再度検討いただきたいということですね。

○小川委員 はい、そういうことです。

○横山部会長 谷藤委員はいかがですか。

○谷藤委員 今までの方と同じで、多目的広場の利用と高齢者以外のターゲットに向けての方策を期待したいということをコメントとして言ってもらえたら。

○横山部会長 評価自体は、市の方はA評価ということですが、一番上がSでしたっけ。一番下は、Cはないんでしたっけ。

○安藤スポーツ振興課長 S、A、Bでございます。

○横山部会長 では、3段階評価の真ん中ですね。可もなく不可もなくということですが、総合評価についてはいかがでしょうかね。

○小川委員 概ねAでいいです。総合評価はAでいいと思います。赤字も何十万単位とかではありませんので、やりくりできると思いますので総合評価としてはAでいいと思いますけども。

○横山部会長 結論的には変わらずということによいでしょうか。

ありがとうございます。今、委員の皆様から意見をいただきましたが、いただいた意見を総合しますと、A評価が妥当であるということによろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは次に、施設のサービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆様から、忌憚のないご意見をお聞きしたいと思いますが、何かございましたらお願いします。

今からのお話は、次期指定管理者の選定に向けてということで、何かご意見があれば。次期指定管理者にこういうことをお願いしたいということですね。よろしくお願いします。

○小川委員 ここの施設については引き続きですね、今現在の大宮スポーツ広場の管理運営委員会さんですか、こちらを指定管理者とするのが妥当でないかと思うんですが、この委員会だけでは、いろいろ利用者サービスの向上を図るといのは、正直ちょっと、無理って言ったらいけないけど、市の方もバックアップしなないとなかなか難しいんじゃないかと。委員会のほうだけに任せてしまうのは大変かと。

○横山部会長 特に利用促進の面ですね。市としてはどういったバックアップできるでしょうかね。

○安藤スポーツ振興課長 具体的な対策というのは現在無いわけですが、バックアップについてですが、なかなかこの団地帯だけではですね、利用が伸びていかないというのがデータからも見受けられますので、大宮地区だけでなく、周辺の自治会等もございますし、スポーツ振興会ですとか、推進員の皆様、そういった方々もいますので、そういった方々でですね施設を利用できるということをPRすると。我々スポーツ振興課のほうで、そういったことをお知らせしてですね、周辺まで区域を拡大して利用が図れるようになればいいなと考えております。

○横山部会長 具体的にPRの手段としては、どういうものがあるんですかね。先ほど

申し上げた市政だよりでも、掲載の基準もあるかと思うんですけども。

○安藤スポーツ振興課長　　なかなか、市政だよりは難しい面がございます。あとは、アクセス面での課題がございますので、これをPRして遠方から来た方が果たして使えるのか難しい面もありますので、やはり、近隣区域に限定した中でのPRとするのが有効かと思えます。そういった中で、地域のスポーツ振興会ですとか、近隣に小中学校もございませので、そうした団体にお声かけをしていくようなかたちになるかなと思えます。

○横山部会長　　地道な声かけになるということですね。わかりました。

○内山委員　　多目的広場についてさっき話が出ましたけれども、あの利用方法でなにか市はバックアップは出来ないものかと。例えば、グラウンド・ゴルフが盛んになっておりますけれども、そういったことでバックアップはできないのでしょうか。

○安藤スポーツ振興課長　　グラウンド・ゴルフはですね、今、ほとんど野球場でやられております。野球場の広さが、5千平米。少年野球をやるには少し狭いグラウンドですので、そちらを使ってグラウンド・ゴルフがやられています。多目的広場は、バレーボールコート1面分の広さですので、なかなかやる種目が難しいというところで、その対策で頭を悩ませているところです。具体的なものは見えてきていないという状況です。

○横山部会長　　織戸委員はいかがでしょう。

○織戸委員　　次期指定管理者に求めるのは、さっき出ました、60～70代の利用を促すことができるような管理者ですね。管理者にそれを求めるということですが、設備としては、問題ないんですよ。テニスコートの破損も修理したりしていますし。使いやすいコートなんですか。

○スポーツ振興課　　若干狭めな場所ではあります。テニスコート1面分はあるんですけども、周りのスペースが十分かという点、少し狭いかもかもしれません。野球場についても、少年野球をやるにしても、外野側が狭いです。

○織戸委員　　そもそもいい設備であれば、テニスであればサービスがきれいで、日よけもあって気持ちよくプレーが出来る。しかも市営で料金も安い。設備さえよければ、効率よく使われる施設だと思うんですが、そこに問題があるんでしたら、指定管理者が頑張ってもそんなにプラスにならないのでは。

○横山部会長　　物的制約があるのならば頑張ってもらっても。

○小川委員　　ひとつ聞きたいんですが、多目的広場、平成25年度だけ264人って突出して多いんですけど、これは何か特別に。前年度はゼロなんです。

○スポーツ振興課　　ちょっと分からないですね。

○横山部会長　　よろしいですかね。

○丸島生活文化スポーツ部長　　確かですね、なんか、ちょっとした大会にたまたま使われたのではないかと。スポーツ広場自体の話なんですけど、それ専用整備した所ではございませんので、たまたまその地域のスポーツ振興の為に、空いている用地を利用して、スポーツの為に使っていただく、どうしても土地の制約が出てきてですね、使い勝手の悪いところはどうしてもしょうがないところがあります。しかしそういった中で、地元の管理運営委員会でやっていただくしかないのかなと思ってますけど。市側が例えば、新たな、

こういった場所で、こういった競技がやりたいから道具を何とかしてくれとか、そういったことに関しては我々も相談に乗れると思いますので、地元の運営委員会と協議しながらですね、新たな競技の使い方とか、可能性を探っていきたいと思っています。

○横山部会長 その結果も含め、市とよく協議していただきたいと。

○丸島生活文化スポーツ部長 そうですね。全部お任せでというのはなかなか難しい状況かなというのは思いますけども。

○横山部会長 他に意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次期指定管理者の選定に向けての意見に関しましてはですね、「多目的広場の稼働率が低いため、利用方法や設備の整備など、稼働率が上がるよう検討されたい。」、「市として、利用促進のPRなどのバックアップについても検討されたい。」、「地域的なことを考えると、高齢者以外の利用を促す方策を考えられたい。」という意見がございました。これらを本部会の意見とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは、これらを踏まえて千葉市大宮スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細につきましては、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を次期指定管理者の選定の際に十分反映していただきたいと思います。

それでは次に、千葉市宮崎スポーツ広場の年度評価について施設所管課から説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは資料の6-1「平成26年度指定管理者評価シート」をご覧ください。

まず「1 基本情報」ですが、施設名は千葉市宮崎スポーツ広場、指定管理者は、千葉市宮崎スポーツ広場管理運営委員会であり、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間であります。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」はご覧の通りとなっております。「(2) 利用状況」についてですが、「①利用者数」は、8,993人で前年度比106.0%です。「②稼働率」は、62.9%で前年度比3.8%増となっております。「(3) 収支状況」ですが、決算額は「①収入実績」225万2千円に対しまして、「②支出実績」は216万1千円でございまして、「③収支実績」につきましては9万1千円の黒字となっております。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」につきましては、ご覧の通りでございます。次のページでございます。「(5) 市への不服申し立て」、「(6) 情報公開の状況」については、ご覧の通りでございます。

次に「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」でございます。「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」です。「①アンケート調査の実施内容」ですが、11月15日から1か月間施設の窓口でアンケート用紙を配布し、回答者数は73人でした。質問項目は、

お住まい、年齢等の5項目でございまして、調査の結果につきましては、「ア 住居」中央区が63.5%でございます。やはり地元の方の利用が多くなっております。「イ 年代」につきましては、50代が34.7%。次いで、60代が29.3%、次いで70代以降が18.7%を占めております。「ウ 利用頻度」につきましては、4月から12月までの間に11回以上利用されている方が、81.9%ありまして、やはり常連利用者が多い傾向にございます。「エ スタッフの対応」についてでございます。すべての利用者が「とても良い」、「まあ良い」でして、満足していただいているということでございます。また、「オ 施設の満足度」につきましても、すべての利用者が今後も利用したいという結果になっております。「③ アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」についてですが、「ボールが見つけにくいので、草刈りを実施してほしい」というものにつきましては、指定管理者において草刈りを実施し、「土日祝日について、直前のキャンセルをできないようにしてほしい」という要望につきましては、引き続き管理者にて、直前のキャンセルを行わないように周知していくこととしております。次に「(2)市に寄せられた意見、苦情」についてでございますが、26年度につきましては、ございませんでした。

続きまして、「4 指定管理者による自己評価」でございますが、いずれの項目も事前の計画書通りでございました。

次に、「5 市による評価」でございますが、評価はAとしております。理由といたしましては、利用者及び使用料収入が増加していますこと。アンケートの結果、利用者が高い満足度を示していること。利用者の要望に適切に対応していること。維持管理、運営について、概ね事業計画書通りに行われていることとあります。3ページをお願いします。次の、「履行状況の確認」でございますが、すべての項目において仕様、提案どおりの実績・成果が認められるということで、2点としております。したがって、合計32点で、平均が2.0点であります。以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございます。それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して、意見交換を行いたいと思います。こちらの指定管理者についても、先ほどと同様に、計算書類等に関して法人等情報は含まれていないと判断されるため、公開のまま会議を行います。

それでは、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとに織戸委員からご意見をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○織戸委員 資料番号6-4です。1枚開けると、平成26年度財務諸表の表紙があります。次のページが、貸借対照表。まず、この貸借対照表を見ますと、先ほどの大宮とかなり似たような数字です。左側の資産、流動資産、現金預金が12万6千円、未収金が18万7千円。固定資産はもっていませんで、資産合計が31万3千円。これに対し、右側の負債、未払金2万4千円、未払費用が15万8千円、預り金が4千円。資産と負債の差でございます純資産これが12万6千円。過去3年の数値、だいたい同じような数値です。私が見る限り、大きな変動はございませんでした。次のページ、「平成26年度決算状況」ですね。収入の部、大きな数字でももちろん委託料収入が225万1,800円市からの委託料とあります。次に支出の部、人件費が184万3千円。事務費が13万円、管理費が1



8万7千円。これら経費の内訳は、次のページ、右側、事務費13万円の内訳がこちらに出ておりまして、大きなものでは消耗品費、事務用品ですとか事務機器でこれが2万2,691円。会議費、会議弁当代など1万7,671円。他の項目をざっと見ましても、まあまあこういったものが支出されているんだろうなという内容だと思います。下半分の管理費ですが、ちょっと大きいのが施設管理費、これは2行ありまして、下段にある除草・除雪作業費他が9万8千円。2つ下に、施設用具管理費として、5万2,526円。このあたりも、まあまあ妥当だと思います。1つ前の収支決算書、収入の部の上から2行目、前年度繰越金、これが3万5,724円。前年からの繰り越しが3万5千円あったのですが、支出の部の上から4行目、次年度繰越金12万6千円。当期の収入と支出を引いた額なので、次年度の繰越金が12万6千円となります。ここで先ほど部会長より質問があったように、1ページ前の貸借対照表の純資産の数字を見ますと、12万6千円というふうに繋がっております。貸借対照表、収支決算書いずれも特に注意を引くところはありません。撤退、倒産のリスクはないと判断してよろしいと思います。

○横山部会長　　ありがとうございました。

ただいまの財務状況の意見について、委員の皆様から何かご質問はございますか。

(なし)

○横山部会長　　いいですかね。では、財務状況につきましてはですね、提出された計算書類等に基づく判断であることを前提としますが、財務状況は良好であり、倒産、撤退のリスクはないと判断します。これを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長　　ありがとうございました。

それでは次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等につきまして、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご質問も含め、ございますでしょうか。

それでは、私から質問させていただいてもよろしいですか。6-1のですね、事務費・管理費に関しまして、計画より決算額が少ないということで、備考で管理費の修繕費の削減によるものだと書いてありますが、それは具体的に何か指定管理者が努力されたということなんですかね。たまたま支出が少なかったということなんですか。

○安藤スポーツ振興課長　　努力したというよりも、たまたま修繕費のかかる案件がさほど出なかったというところですので。もちろん、壊れたところは積極的に直していただくのが、こちらとしてはお願いしているところなんですけど、そういったものが少なかった。

○横山部会長　　結果的に削減されたということでよろしいですか。わかりました。

○織戸委員　　質問です。6-1の2ページ目、アンケートにより得られた主な意見の黒丸の2つ目、この意味がよく分からないのですが、「土日祝日について、直前のキャンセルはできないようにしてほしい。」これは、利用者の方が、他の利用者が土日にキャンセルするのはもったいないから止めさせてくれという意味でしょうか。

○安藤スポーツ振興課長　　はい、リピーターが多い施設でございまして、土日にたまたまやりたい方がいらっちゃって、見に行ったら空いていたという状況を目撃したと。聞い

てみたところ、直前にキャンセルがあったということでして、キャンセルで空くのであれば、私がやりたかったというご意見がありました。そういった面から、直前のキャンセルはできないようにしてほしいということです。

○織戸委員　であれば、使っていただければよろしいんじゃないですか。キャンセルするなという周知徹底するよりも。

○安藤スポーツ振興課長　そうですね。その方はテニスの用意をして来ていた訳ではないので。通りかかったら空いていたということでございまして。

○小川委員　その直前というのは当日ですか。

○安藤スポーツ振興課長　当日ですね。当日に予約が入っていたものの、その時間に現れなかった。無断キャンセルですね。それも、たまたま通りかかった人を見て、空いているなら、私が使いたかった、ということでございまして、それは止めていただきたいということでございます。

○小川委員　例えば、前日等にキャンセルした場合には第2希望者とかに連絡するシステムとかにはできないんですか。

○スポーツ振興課　現時点ではそのようにはしておりません。ただ、問い合わせがあった場合、使っていただくということは出来る。

○小川委員　そうですか。

○横山部会長　よろしいでしょうか。

○谷藤委員　使用料収入の観点からすると、キャンセルできないようにして、収入はそのままだと思うんですが、サービスを向上させること考えたら、キャンセルしちゃう側はやむを得ないので、用事なのか体調不良か分からないですけど、指定管理者さんの方で、キャンセルのシステムをちょっと効率をよくして、キャンセル出たらすぐに他の人が使えるような仕組みを作っていただけると、利便性が良くなるんじゃないかなと思います。

○横山部会長　難しいですよ。何か帳面みたいなのにしてるんですよ、ウェブではないですよ。

○スポーツ振興課　ウェブではないです。予約をしていただいてその中で抽選をする。それで当たった方が利用していくかたちになります。

○内山委員　直前にキャンセルされたらもう対応できないですよ。

○織戸委員　空いてるところが周知できれば良いんでしょうけれども。ただ、利用者へのサービス水準の向上に関して検討の余地があるということでしょうかね。

他にご意見あれば。何か改善点等ありましたら、お願いしたいと思います。内山委員いかがですか。

○内山委員　大宮スポーツ広場と同じように、地域の方々が運営されておりますのでそんなに大きな問題はないんじゃないかと。ほとんど利用者も地域の方だと思うんです。これを見ますと。だから、利用人数は増えていますから、50代が35%近くいますから、しばらくは大丈夫じゃないかと思えます。

○小川委員　利用者で市外の方が6.8%というのは、結構割合としては千葉市外も利用しているんですね。場所柄ですか。

○安藤スポーツ振興課長 蘇我駅から至近な場所にありますので、アクセスの良さというのもあって、市原とかからの利用者もいらしています。

○横山部会長 地域性の問題ということですね。他にご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

委員の皆様から、さまざまなご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見といたしましては、概ね良好な施設運営がされていると考えられますが、「利用者のキャンセルがあった場合の対応を検討する余地がある。」ことと、「さらに利用者増に努められたい。」ということで、よろしいでしょうか。

これらを本部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは、先ほどの財務状況も含めて千葉市宮崎スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細につきましては、私と事務局にて調整することでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございます。では次に、総合評価について、ご審議いただきます。所管課から説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、総合評価についてご説明をいたします。資料7-1「指定管理者総合評価資料」をお開きください。「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」については、ご覧のとおりでございます。続きまして、「(2) 利用状況」につきましてご説明いたします。「①利用者数」、「②稼働率」についてですが、指定期間当初からの推移について、表にまとめております。23年度以降、利用者、稼働率ともに減少傾向でございました。平成26年度には若干の増加となっております。

次に、「3 利用者意見への対応状況」でございしますが、意見や苦情に対し適切に対応しているのとあります。次のページをご覧ください。

「4 収支状況」についてご説明します。「(1) 過年度の収入・支出状況」ですが、表の1番下にあります「収支」欄をご覧くださいと思います。平成23年度が1万3千円の赤字、平成24年度はゼロ。平成25年度は、9万7千円の赤字。平成26年度につきましては9万1千円の黒字でございまして、指定期間全体の収支は1万9千円の赤字となっております。「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」ですが、事業計画に沿った維持管理及び運営を行いまして、運営に支障をきたさない範囲で事務費や管理費の削減に努めております。

次に、資料7-2「指定管理者総合評価シート」をご覧ください。「1 基本情報」については、ご覧のとおりでございます。

次に、「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」についてご説明をいたします。まず、「1 市民の平等な利用の確保 施設の適正な管理」につきましては、「関係法令等の遵守」や「モニタリングの考え方」、「公正な利用受付」について概ね事業

計画通り履行しており、利用者アンケートにおいても全ての利用者が満足となっていることから、Aといたしております。次に、「2 市民サービスの向上」についてですが、相談や苦情に対して適切に対応していること、利用者を対象としたアンケートの結果、全ての利用者がスタッフの対応に満足していることからAと評価しております。次に、「3 施設の効用の発揮 施設管理能力」については、設備の管理・補修について適宜対応しており、管理体制についても概ね事業計画通り実施されていることからAと評価しております。次に、「4 管理経費の縮減」ですが、支出入に関して概ね事業計画通り実施されていることからAと評価しております。

最後に、総合評価については、「概ね事業計画どおりの実績・成果が認められた」ものと判断し、Aとしています。以上です。

○横山部会長 ありがとうございます。

ただいま、所管からひと通り説明をいただき、宮崎スポーツ広場の総合評価につきまして「評価案」が示されましたが、まず始めに、この市当局が作成した評価の妥当性について、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

ご質問も含めて、何かございましたらお願いします。どなたかいらっしゃいますか。

では私からちょっと申し上げます。総合評価を見ますと、全体的にやはり利用者は減少傾向にあるんじゃないかなと。あと収支等の状況についても、黒だったり赤だったり、ということで、先ほどの大宮スポーツ広場と全体的には同じような傾向にあるかなと思います。ですので、やはり、全体的に利用者数が減少しているわけですから、利用者増に向けてご尽力いただきたいという印象です。という意見を述べたいと思います。他にいかがでしょう。小川委員、いかがですか。

○小川委員 そうですね。大宮スポーツ広場がほとんど70代以上が大半、若干50代。これは地域性によるのかもしれないですが、26年度は少し回復したんですけど、全般的には年々利用者が減少している。この要因というのは、どのように考えますか。

○安藤スポーツ振興課長 あまり分析は出来ておりません。あまり大きな変動ではないのですが、今年なぜ増えたのかは分かってないです。あと、去年は雪が降った影響で、閉鎖の時期もありまして、もちろん今年度割増の分とぴったり合致するものではないですが、そういったことがあるのかと考えております。

○横山部会長 小川委員からもありましたけれど、減少傾向ですよ。

○小川委員 そうですね。

○内山委員 26年度は多少利用者が増えましたけれど、どちらかというと平均的に下降気味だということで、これからも方策を考えていただきたいなと思っております。

○横山部会長 ありがとうございます。谷藤委員。

○谷藤委員 だいたい同じです。

○横山部会長 織戸委員。

○織戸委員 私も同じです。

○横山部会長 今、ご意見をいただきましたが、いただいた意見を総合しますと、市の評価Aということですから、特に異論はないということですのでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 次に、施設のサービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。委員の皆様から、忌憚のないご意見をお聞きしたいと思いますが、何かございましたらお願いします。

○谷藤委員 先ほどと大体同じなんですけれど、この運営委員会がものすごく何かをやるというのはちょっと厳しいかなと思うので、市ですとか、スポーツ関係団体とか、そういうところとネットワークをして利用者数を増やしてほしいという要望です。

○横山部会長 はい、関係機関と連携を密にしてということですね。

○内山委員 やはり谷藤委員と同様になりますが、利用者を増やして行って下さいということではないかなと思います。

○小川委員 総合型地域スポーツクラブって川鉄体育館ですか、あの中に蘇我地区のがありますよね。

○安藤スポーツ振興課長 はい。

○小川委員 あの団体あたりにも働きかけていただいて。

○横山部会長 ありがとうございます。いいですかね。

次期指定管理者の選定に向けての意見としましては、「市や関係団体と連携して利用者の増加に向けて方策を図られたい。」と、そういうことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それではこれを踏まえて、千葉市宮崎スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。

(異議なし)

○横山部会長 施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を次期指定管理者の選定の際に充分反映していただきたいと思います。

それでは、5分間休憩とりたいと思います。お疲れ様でした。

(休憩)

○横山部会長 それでは再開いたします。千葉ポートアリーナの年度評価について、施設所管課から説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 はい、それでは、千葉ポートアリーナのご説明をさせていただきます。まず、資料8-1をご覧ください。

「1 基本情報」でございますが、指定管理者は公益財団法人千葉市スポーツ振興財団でありまして、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

次に、「2 管理運営の実績」についてですが、「(1) 主な実施事業」は「①指定管理事業」と「②自主事業」ということになっています。「(2) 利用状況」ですが、「①利用者数」は、26万7,517人で、前年度比108.8%となっています。「②稼働率」についてでございますが、81.9%で、前年度より0.4%低くなっております。「(3) 収支状

況」ですが、「①収入実績」につきましては、指定管理委託料は1億6,504万5千円で計画額どおりでございます。利用料金は8,528万7千円で計画額の101.3%。自主事業は、404万2千円で計画額の86.5%です。この点につきましては、開催教室の参加者が定員に満たなかったことによりまして、参加料の減収となったことが要因となっております。その他につきましては、192万3千円で計画額の132.0%でございます。収入の合計は2億5,629万7千円で、計画額の100.4%ということでありまして、続きまして、「②支出実績」ですが、人件費は、5,465万5千円で、計画額の91.3%でございます。これは、職員1名の配置変えによるものです。事務費は、8,326万4千円でございます。これにつきましては、主に電気、ガス料金の上昇及び夏季の空調利用が増加した影響で光熱水費が増加したことによるものです。管理費は、1億1,560万2千円で、概ね計画額どおりでございます。自主事業につきましては、366万5千円で、計画額の78.4%です。これは、教室参加者の減少に伴う保険料の支出の減などによるものでございます。支出の合計は、2億5,718万6千円で、計画額の100.7%でございます。概ね計画どおりでございます。「①収支の実績」でございます。88万9千円の赤字となっております。次のページをご覧ください。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」や「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましては、ご覧のとおりでございます。

続きまして、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてですが、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」でございます。「①アンケート調査の実施内容」につきましては、10月から11月にかけてと3月の計2回行っております。10月から11月のアンケートの回答者数は、275人でございます。3月のアンケートは利用団体を対象に実施いたしまして、回答数は45団体となっております。「②調査の結果」についてでございますけれども、10月から11月のアンケートでは、まず、「イ 利用頻度」は、「週1回」が23%、「週2回」が22%で、常連利用者が多い結果となっております。「ウ 施設の快適さ」については、「とても良い」、「まあ良い」が95%であり、高い評価です。「エ スタッフの接客マナー」については、全ての利用者が「とても良い」「まあ良い」で高い評価をしております。次に、3月のアンケートについてですが、「ア 利用種目」は、フットサル、バスケットボール、バレーボール、新体操、バドミントン、バトントワリングとなっております。「イ 利用頻度」は、「年に数回」が36%、「月1回」が42%、「週1回」が13%となっております。「ウ 施設の快適さ」では、全ての利用者が「とても良い」「まあ良い」で高い評価をしております。「エ スタッフの接客マナー」についても、全ての利用者が「とても良い」「まあ良い」ということになっております。

「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」についてですが、「時間制限のあるトレーニング器具について、時間制限のルールを守らない方がいる。」という意見につきましては、インストラクターが時間を確認致しまして、声掛けを行うとともに、貼紙を張りまして、更なる注意喚起を行っております。また、「トレーニング設備の数を増やして欲しい。」という要望に対しては、スペースの関係から大幅に増やすことは難しいのですが、今年度、平成27年度におきまして、数台導入する予定としております。次に

「(2) 市に寄せられた意見、苦情」についてですが、2件とも「物品の販売について出店の場所の費用が高い」という意見でした。こちらにつきましては、物品販売に関する行為許可利用料金は、条例で定めておりますので、その料金をお支払いいただくということとしております。

3ページをご覧ください。「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目につきましても、管理運営の基準や事業計画書への適合状況は、「きわめて良好」または「良好」でございます。総合評価は「良好」となっております。

次に、「5 市による評価」ですが、評価はAといたしております。理由といたしましては、ポートアリーナの管理を23年間行ってきた実績・経験がございまして、安定した管理運営を行ったこと。10月と3月に実施いたしました利用者アンケートの結果におきまして、利用者満足度が95%を超えており、良好な運営が行われていると認められること。25年度と比較しまして、インターハイをはじめ、大会利用が増えたことにより利用料金収入は増加しておりますけれども、夏季の空調利用の増加等に伴い光熱水費の支出が増えたことで支出超過となったものの、総合的な評価としては、概ね管理運営の基準、事業計画通りの実績・成果が認められるところであります。次に、「履行状況の確認」ですが、こちらはすべての項目におきまして、仕様、提案どおりの実績・成果が認められたことから、すべての項目につきまして2をつけさせていただきました。したがって、合計が次のページの下ですが、48点。平均点が、2.0点ということになっております。以上でございます。

○横山部会長 ありがとうございます。

それでは、指定管理者の倒産・撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等について、意見交換を行いたいと思います。なお、本施設の指定管理者である公益財団法人千葉市スポーツ振興財団につきましても、計算書類等がすべて公表されており、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報は含まれないものと判断されますので、今までと同様にこのまま公開で会議を続けます。

それでは、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとに、織戸委員からご意見をいただきたいと思います。

○織戸委員 資料8-4、タグが付いているところを開けていただいて、22ページ。タイトル見ますと「II 計算書類」、そして貸借対照表とあります。この見開き、22と23、この両ページで貸借対照表となります。22ページを見ていただくと、まず1番左に科目が並んでおります。右隣に当年度の数字、その次が前年度の数字、次が増減となっております。大きいくりで見えていきますと、貸借対照表、大きくは3つの部類に分かれています。まず、22ページの1番上、「I 資産の部」。次が、23ページの1番上、「II 負債の部」。そしてこの真ん中ぐらい、「III 正味財産の部」。この3つに分かれています。で、まずは、当年度の数字だけ見ていただきたいのですが、22ページの資産の部の1番下、資産合計ですね。これは単位が円ですので、資産合計が8億2,600万円でした。隣のページ、負債の部、中ほどに負債合計、268,968という数字がございまして、ですので、資産が8億2,600万円あったのに対して、負債は2億6,800万円です。その差額が、

正味財産になりまして、23ページの1番下から2行目、正味財産合計は、5億5,700万円ということですので、先ほどの2件と比べるとかなりスケールが大きくなっています。で、ざっと見ただけでもたくさんの数字が並んでいますので、キーになる数字だけ申し上げます。先ほどの説明、ポートアリーナでは88万いくらの単年度赤字であったということですが、財団全体で見ますと、23ページの下から2行目正味財産合計、先ほど557という数字を見ましたが、その1つ右側、これが前年度の正味財産が、5億6千万円、これが当期の5億5,700万円に減りまして。ちょっと減ったんですね。それで、その差額が、1番右の増減額、△の451万円になってますので、とても大雑把な計算ですが、451万当年度赤字でした。まずはそういうことが見てとれます。とはいえ、正味財産は5億5,700万円あります。そしてこれは、追加資料については今説明してもよろしいんですか。

○スポーツ振興課 はい。

○織戸委員 お手元にある「委員からの事前質問に対する回答書」をご覧ください。これら絡めてご説明しますと、まず、質問No. 1、資料8-4の16ページに対する質問なんですけれど、千葉ポートアリーナ管理運営事業としまして、「(1) 施設管理運営事業」、利用人数が5万6,982人、利用料収入金額が、2,581万6,970円なのですが、前年、前々年と比べますと、かなり落ちてるんですね。前年は、3,300万円でした。その前は、5,700万円でした。ということでしたので、私の質問書で、「なぜポートアリーナの施設運営事業、その収入が落ちているんですか。」と質問したわけですが、それに対するご回答、ざっくり言いますと、4行目ですね、途中から、「平成24年度に東京体育館が改装されたことにより使用不可能になり、大規模大会がポートアリーナで開催されたことによります。把握できたもののみで3大会約527万円がありました。」とありますので、平成25年度が特に悪かったのではなくて、平成24年度が、ちょっととりわけ良かったからですよというご回答をいただきました。それより前の年、前々年については、公益・収益の区分はなく、比較はできませんということでした。

次の質問、私の質問書2番、22ページをご覧ください。先ほどの貸借対照表ですね、この中で、1番右の増減欄を見ていきますと、ちょっと大きな増減がありますよね。もちろん1番上の現金預金、5千万円減っていると、これも大きな変動なんですけども、真ん中よりも下、△印で40091940とあります。タイトルを見ますと、海域監視・施設管理用積立資金、これが当年度は1,100万円でした。前年度は5,100万円でした。約4千万円減ってますよ。資産が1年間で、約4千万減っていますので、これはなんなのかお聞きしました。これに対するお答えが、「財団所有の資産老朽化等による買換を実施するための積立金でございます。平成25年度に取り崩した40,091,940円」、さっきの数字ですね。「それは千葉市所有の稲毛ヨットハーバー管理棟のトイレ・更衣室・シャワー等水回りを中心として美化向上も含め、改装工事を実施したものでございます。」という、ここで、ちょっと確認しますが、ここで減った4千万円は、22ページの貸借対照表の特定資産、上から3つ目、いや4つ目、3つ目ですね、建築附属設備、これが去年は0だったのが、当年では1,200万円になってますけれど、その次の、「構築物建物」も、0か



ら1,800万円に増えてますけれども、そういう資産に成り代わったんですよという理解でよろしいんですか。

○安藤スポーツ振興課長 はい、そういう理解でいいです。

○織戸委員 はい、そういうことでまず私が1番驚いたのが、資産のマイナスがとても大きなのがありましたので、どうしたんだと。それは、ちゃんとした資産に成り代わっていき、資産ではなく経費、修繕費に振りかわったということによろしいですか。

○安藤スポーツ振興課長 そうですね、修繕を実施してその建物、トイレですとかをきれいにしましたので、そちらを建物資産の方に変わったと。

○織戸委員 この辺につきましてはまた後で戻ってきますので、先に3番にいきたいと思います。3番目の私の質問、これは23ページの1番上の行、未払金、これも去年は8千万円あったのに今年2,400万円しかない。5,500万円減ってるんですね。会計士の目としては、債務を隠しているという疑いで見るんですね。なぜ減りましたか、というのが質問です。それに対するご回答がとても、最もなものとして、まず大きくは、職員さんの退職金が、去年は未払金が2,700万円あったんですけども、当期は無くなっている。だから未払金は大きく減ったの不思議じゃない。というのが1つの回答ですね。もうひとつ、まだまだ減っているんだけど、それは千葉市に対する清算、これで、随分減ったんだと。回答欄を見ますと、千葉市に対する清算の4行目ですね、補助金で戻さなきゃいけないのが、平成24年度では1,286万7,467円だったけれども、25年度ではタイミング的にゼロになっています。だから、2期の未払金を比べると、どうも当期が減っていて、おかしい様子になってるけど、これは別におかしいことではないです、と言ってる、というご回答だと、そういう理解でよろしいですか。

○安藤スポーツ振興課長 そうですね。

○織戸委員 ちょっと質問交えて数字を見てみましたが、財団全体は500万円の多少の利益が出ている。貸借対照表の中の大きな増減がある項目についても説明はつく、ということが、ここまでで分かりました。ここで倒産・撤退のリスクはありませんと結論急ぎたいところなんですけど、ちょっと、質問書の2つ目を見ていただきますと、ヨットハーバー、今回話しているのは千葉ポートアリーナの委員会ではありますが、直接ヨットハーバーは関係ないのでありますが、「平成26年度千葉市包括外部監査報告書」を見ますと、本来は財団法人が支出すべきでないもの、千葉市で負担すべきもの、項目が固定資産ですので、財団法人が自前で払うんじゃないよという指摘を包括外部監査員から受けている。それは、理解は正しいですか。

○安藤スポーツ振興課長 はい。

○織戸委員 その他にも、会計書類がラフすぎるという、修繕費と固定資産を7対3で分けるのも、そんなことせずに、税法上認められているとはいえ、ちゃんと関知しなさいというような指摘を受けているようです。ということで、ちょっと問題っぽく見えるんですよ。まず、1つの質問は、4,091万円の負担の問題ですが、今後どうなるんでしょうか。市に寄付なのか、返すのか、どうなのか。直接今回の委員会に関わるものでないの失礼ですが。

○安藤スポーツ振興課長 ヨットハーバー自体はですね、千葉市の都市公園施設の一部でございます。財団が管理許可という形でその管理をしております、財団の資金を使いまして修繕を行ったと。本来であれば固定資産と計上すべきもので、市のものですから、その修繕した時点でただちに市に寄付をする、移管するという形をとればよかったのですが、自分の固定資産に計上してしまったものですから、少々おかしな形になっておりまして、包括外部監査の方から指摘を受けております。指摘を受けまして、この施設におきましては市に寄付という方向で現在調整中しております。

○織戸委員 外部監査人の指摘は、財団で固定資産を持ってしまうと、毎年減価償却費が発生し、その分だけ経費が増えてしまう。財団の経営にも影響するだろうし、もともと負担しなくていいものを負担したのだから、それを戻すと検討していらっしゃるということよろしいですか。

○安藤スポーツ振興課長 はい、そうですね。その方向で検討しています。

○織戸委員 寄付というのは、財団から市へということですか。

○安藤スポーツ振興課長 そうですね。

○織戸委員 であれば、まあ来年から経費が、固定資産の減価償却費分増えて、倒産の危機に陥る、そういったことはないようですので、まずは、よろしいのかなと思われま

○横山部会長 結論としての意見はいかがですか。

○織戸委員 はい、倒産・撤退のリスクはなしです。

○横山部会長 ありがとうございます。

ただいまの財務状況の意見につきまして、委員の皆様から何かご質問はございますでしょうか。

○織戸委員 私から、質問よろしいでしょうか。

○横山部会長 それは、市に対して。

○織戸委員 はい、市に対して。

今回いただいた、8-4の決算報告書、8-4の目次を見ますと、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲとありますが、「Ⅲ監査報告書」が見当たらないのですが、それは何か問題があるのでしょうか。前年、前々年はちゃんと付いてるんです。

○安藤スポーツ振興課長 大変失礼いたしました。漏れでございます。

○横山部会長 今すぐは持って来れないですね。

○安藤スポーツ振興課長 ポートアリーナ、スポーツ振興財団の方に原本がありまして、今すぐは。

○スポーツ振興課 ちょっと確認を。

○横山部会長 多少時間はあるので、持って来れるのであれば。

○安藤スポーツ振興課長 確認をさせていただいて、持って来れるようであれば、お持ちいたします。

○織戸委員 公認会計士の大変いやらしい見方をするとですね、適正な監査を受けていないんじゃないかと。そうじゃない、適正に監査を受けていますよ、というところをちょっと確認したい。

○横山部会長 では、他に何かございますか。私の方から質問させていただいてもいいですか。ちょっと素人なので理解できないところがあるんですけど、先ほど、海域監視・施設管理用積立資産の減少に関してご指摘がございましたけれども、この積立資産の減少自体は特に問題がないということなんですか。

○織戸委員 減少して、どっかに消えてしまえばまずいんですけども。

○横山部会長 この財務諸表上は、建築付属設備ですとか、構築物建物に成り代わっているということで、会計処理上は正しいかと思うんですが、財団側とすれば財産が減少するということですよ。良くない傾向なのではないのですか。

○織戸委員 そうですね。それは、市としてはどのようにお考えなのか。

○安藤スポーツ振興財団 外郭団体ということで、市のスポーツを補完する団体として、施策の中核を担っていただいております。その関係で、補助金も支出しておりますので、財団の規模が若干減ったからといってですね、財団本体並びにスポーツ施策に与える影響はさほど大きくはないと思います。海域監視の積立につきましては、修繕を実施していただいたということで、ある意味市がやる部分の肩代わりをしていただいたということで、まさに外郭団体として市に貢献をしたというようなことで、我々としてはありがたい、というところではございます。

○横山部会長 逆に市からお金を出すということは考えられないんですか。

○安藤スポーツ振興課長 公益財団法人ということでやっておりますので、利益というものを追及しない中でやる以上、これは妥当なラインかと。

○横山部会長 市としてはそういうお考えであると。

確認なんですけど、先ほどご指摘いただいた、外部監査の資料についてはどこから。

○織戸委員 千葉市ホームページから。

○横山部会長 公表されている資料。法人等情報は含まれていない。

○織戸委員 はい、そうです。含まれておりません。

○横山部会長 すみません。先ほどの監査報告書以外の最終的な意見は、これでいいということでしょうかね。

(異議なし)

○横山部会長 そうしましたら、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何かございますでしょうか。質問も含めて。

○横山部会長 はい、小川委員。

○小川委員 光熱水費について、指定管理者が管理をはじめた後で、東日本大震災で原発事故が起きたんですよね。そうすると、その後すごく電気料金が値上がりしましたよね。それで当初の5年間高くなったと思うんですが、うまくやれているのか。

○安藤スポーツ振興課長 電気料金、ガス料金は値上がりしております、事前にそういった値上がりの幅っていうのは知ってですね、計画に反映させるということは可能でございますので、そういったものは事業計画の段階で精査していただきたいなということで、

そういった点が若干出来ていなかったようですので、その点は指導していきたいなと思っております。冷暖房費について、これはインターハイがありまして、あそこはバトミントンの会場でしたので、常時運転ということをやっと続けておりました。それで相当冷房費がかさんだということでございます。周辺にこういった施設がないものですから、その分、支出増を計算に入れていなかった。

○横山部会長　市としては見通しが甘かった、ということではないのですか。

○安藤スポーツ振興課長　そうですね。精査が足りない部分もあったのではないかと思っております。

○横山部会長　8-1ですね。収支状況について、自主事業の収入実績なんですけれども、計画比86.5%と、ちょっと低いなあという印象があるんですが、その原因について何か分析されていますか。「備考」に一応、参加者減と書いてありますが、何か分析されていれば。

○安藤スポーツ振興課長　それにつきましては、まずは、種目ですね。教室の種目内容が分かりづらいタイトルのものがありまして、そういったものはなかなか生徒の数が集まらなかった。それから、周知の方法ですね、財団法人で周知をしたわけですが、まだまだ努力が足らなかったと。それと時間設定につきましても、適切な時間設定、対象を絞って、それに合った時間を設定していたかということ、小学生対象のものが、夜遅くに設定されているといった、なかなか複数の要因がありまして、こういった、自主事業の減収になってしまったと考えます。

○横山部会長　問題であると認識されている、ということですか。

○安藤スポーツ振興課長　そうですね、やや問題がございます。その年々でニーズというものが違いますので、それにあった、適切なプログラムを提供していく努力が必要だと思います。

○横山部会長　すみません。またちょっと確認したいのですが、利用状況に関して、8-3の資料、2ページ目ですね、「利用状況総括表」の下の表の利用料金収入内訳の専用使用のメインアリーナ（非アマチュア・入場料あり）というのが、若干もの足りないなと思います。要は、プロで興行でやっているというようなものですよね。ですから、こういうものをもっと盛りたてていただくと、活性化や利用者増につながるのではないかと思います。利用料金収入増に向けて、方策などは、市はお考えになられますか。

○安藤スポーツ振興課長　はい、やはりですね、ポートアリーナ、7千席を超える座席数を誇る県内最大のアリーナでございますので、集客に繋がるイベント等を積極的に盛り込む必要があると思っております。

こちらにつきましてはですね、やはりポートアリーナの営業努力によるものでして、スポーツ振興財団も努力をしております、27年度、今年度ですが、営業をかけた結果ですね、コンサートというものができたということでもあります。こういったリピートのあるものや、新しいイベントを呼び込むための営業活動が必要になってくると。ですからその辺の努力をお願いしたいと考えております。

○織戸委員　実際に財団の人が出向いて、営業をかけているということですか。

○安藤スポーツ振興課長　その通りでございます。市の方といたしましても、例えばバスケットボールの千葉ジェッツさんですか、そういった所をお願いをし、誘致を行ったりしております。あらゆる機会を捉えて、そういった努力をしていかないといけないと考えております。

○谷藤委員　先ほども自主事業の話が出たんですけれど、8-1の4ページの「自主事業の効果的な実施」というところで、2点で計画通り実施したというところなんですが、受託事業も含めてなんですが、計画立てたところが集まらなかったというのが一年間通じて、後半もそういう状況だったというのは、計画通り実施はしたとは思いますが、もう少し考えてもいいのかなという気がしまして。評価も含め、その効果的・効率的な実施についてもっと研究していただきたいなと思います。

○横山部会長　今、市の評価についてのご意見ですね。後半は、指定管理者に対してどうしてほしい、ということですよ。

○谷藤委員　はい。

○横山部会長　参考までに、市として、全て2点をつけていますけれども、谷藤委員からご指摘があった点について、どうして2点なのかということをお教えいただきたいと思っています。

○安藤スポーツ振興課長　自主事業につきましても、決算額で申し上げますと、計画比86.5%ということでありますので、86.5%をどう評価するかということだと思いますが、市としては、概ね、ということに入ると評価いたしました。

○横山部会長　もうちょっとね、評価できるところは3にしたり、努力が必要なところは1にしたりした方が、ある意味分かりやすいし、指定管理者に対する刺激にもつながっていいと思うんですけどね。先ほどのご意見としては、自主事業を頑張っていたきたいと。

○谷藤委員　はい。

○横山部会長　小川委員何かご意見は。

○小川委員　概ねということであれば評価はAでいいと思うんですけど、これはあれですかね、収入実績で利用料金収入自体は101.3%でさして減ってはいないということ。

○横山部会長　8-1の資料ですよ。

○小川委員　はい、この自主事業だけは86.5%と減っている、これは何か特別考えられる要因があるんですか。さきほど伺いましたが、教室への参加者減の理由というか。

○安藤スポーツ振興課長　やはり対象に対する時間設定の問題であったり、分かりやすい教室の名称であったり、あとは、そうですね、魅力あるプログラムをいかに提供できなかったかという、いくつかの原因があると思います。

○横山部会長　何か指定管理者に対して改善提案があれば。

○小川委員　正直、すごく無責任な言い方になっちゃうんですけど、魅力あると言いますか、皆さんが応募するような需要を得たイベントを提案をしていただけたらと、当たり前な話になっちゃうんですけど。あと、体力測定室ですが、あそこはあんまりないんです

よね。あそこの利用はもうちょっと考える余地があるのかなっと思いますけど。

○安藤スポーツ振興課長　そうですね、体力測定室につきましては、あまり利用はされていないという状況です。今、体力測定というようなニーズがあまりないんだろーうということで、それ専用で展開してもなかなか利用が進まないというのが現実でございます。従いまして、今後、指定管理者と話しまして、体力測定室とありますが、別の使い方、トレーニング室を補完するようなものであったり、いろんなアイデアを出しながら、利用が進むような形で考えていきたいと思ひます。

○横山部会長　内山委員何かありますか。

○内山委員　100点満点というのはなかなか難しいので、私は概ねこれでいいと思ひます。

○横山部会長　評価できる点はありますか。

○内山委員　なんていうか、アンケートを見させてもらって思うのが、スタッフのマナーが素晴らしいと90%以上100%になってますから、そういったやり方を続けてほしいと、そう思ひます。

○横山部会長　織戸委員。

○織戸委員　しつこくて申し訳ないですが、先ほどのヨットハーバーの件なんですけど、外部監査人の意見としてこう書いています。「大規模改修工事に関する費用負担に関する合意は、必ず文書で行われたい。」ちゃんと文書で行いましょうという、それができていなかった。で、そういう財団の法令遵守の評価は、8-1の3ページの、どこで行うんですかね。どこで1をつけるべきなんでしょう。

○横山部会長　これはポートアリーナの評価ではありますけど、同じ指定管理者自身の問題ということですから、もし盛り込めるのであればということですかね。

○織戸委員　そうです。

○安藤スポーツ振興課長　ポートアリーナのことではないですけど、財団の法令順守の全体的な考えが至らない点があったと。ここでは、1点をつけることは。ポートアリーナは指定管理業務でございますので、業務に関するものでつけるというのであればですが。

○織戸委員　では仮に、指定管理者がとても良くないことをしてもオーケーになっちゃうんですか。1をつけることはないんですか。という、単純な質問なんですけれど。

○安藤スポーツ振興課長　相手方が市でございまして、公園緑地部との間ということもありまして、市と財団は双方抜け落ちていたというのが事実というところでございますので、一概に財団だけを挙げて法令順守というような話は市側としても言い難いというのは言えそうです。

○織戸委員　相手が市でなかったらどうなんですか。

○丸島生活文化スポーツ部長　市でなかったら、ありえない。

○織戸委員　ありえない。これは特殊な状況で、なんらかの手続きとってやっている。

○丸島生活文化スポーツ部長　だからこそ書類上のちゃんとしたものがなかったとか、結果的にでてきてしまう、やっぱり、市と財団という関係だから、ということです。

○安藤スポーツ振興課長　長年、海洋スポーツ協会という時代がありまして、そちらが

ずっと管理をしております、いろいろな修繕なんかも、そこで自前でやってきている。小さなものを、ですね。そういった流れの中でやったということで、市の方でもそういう認識はなかったですし、財団の方でも認識はなかったということで、いわゆる手続きについての理解が全くなかった、認識が抜け落ちていたというのが今の状態です。民間相手だとそういうことはありえない。あくまで契約で。

○織戸委員　今おっしゃっていることはよく分かりました。私が聞きたいのは、法人運営において重大な法令違反、遵守できないようなことがあったとした場合は、どこで評価するんですか。市民の平等な利用うんぬんじゃないですね。

○安藤スポーツ振興課長　法人として重大なことがあった場合は、法令遵守のですね、この評価ですと、個人情報、情報公開、労働条件しかありませんので。

○横山部会長　ちょっと違いますよね。おそらくこれ、基本契約の問題ですよ。なにか改善方法とかってあるんでしたっけ。指定管理を行うにあって。おそらくこれは、指定管理業務に対する評価ですので、結論的には、ここには書けないのではないかと。

○織戸委員　結構です。あと、先ほどの監査報告書もいただきましたので、財務状況についても問題ありません。

○横山部会長　話を戻しまして、財務状況についてですが。今、織戸委員より、結論としては問題はないということでした。それを踏まえましてですね、財務状況につきましては提出された計算書類等からの判断であることを前提としますが、概ね良好であり、正味財産が多少減少しているものの十分な額があり、倒産・撤退等のリスクについてはないということですのでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長　じゃあ、これを本部会の意見といたします。また、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等については、他にはご意見ないということですのでよろしいですかね。

(異議なし)

○横山部会長　そうしますと、主な意見といたしましては、概ね良好な施設運営が行われていると考えられるが、「魅力ある自主事業の実施や工夫など、自主事業収入の増加につながる方策に努められたい。」、「引き続き、集客のための営業活動に努められたい。」、「アンケート結果によるスタッフの接客サービスは評価できる。」とのご意見がありました。これらを本部会の意見とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長　それでは、これらを踏まえ千葉ポートアリーナの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細につきましては私と事務局にて調整することでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長　ありがとうございました。では次に、総合評価についてご審議いただきます。所管課から説明をお願いいたします。

○安藤スポーツ振興課長　それでは、資料9-1「指定管理者総合評価資料」をご覧ください。「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」につきましては、ご覧のとおりでございます。次に、「(2) 利用状況」について、「①利用者数」ですが、指定期間当初からの推移について、表にまとめております。23年度は、東日本大震災による長期休館の影響により、利用者数が減少しておりますが、24年度は東京体育館の大規模改修に伴う長期休館により、例年東京体育館を利用していた大規模イベントが本施設で開催されたことから、増加をしております。25年度に関しましては一旦利用者が減少しておりますが、26年度は、新規の全国大会等が多く開催されましたことから、利用者が増加しております。また、「②稼働率」ですが、利用者数と同様に23年度は震災の影響により稼働率が減少しておりますが、24年度以降は全体で8割を超える稼働率を維持しております。

次に、「3 利用者意見への対応状況」でございますが、意見や苦情に対し、適切な対応が図られているものと考えます。

次のページをお願いいたします。

「4 収支状況」についてご説明いたします。「(1) 過年度の収入・支出状況」ですが、表の一番下にあります「収支」のとおり、平成23年度は211万7千円黒字、平成24年度は2,017万7千円の黒字、25年度は530万3千円の赤字、平成26年度は88万9千円の赤字。4年間のトータルで見ますと、1,610万2千円の黒字となっております。次に、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」ですが、過去利用実績先への営業や利用者ニーズを踏まえた自主事業の実施、情報誌等を通じた施設や教室のPRを行うなど、利用率向上の取組みによる収入の増加を図るとともに、入札の実施や長期継続契約の締結による契約金額の低減化や、利用者に影響の出ない範囲内で光熱水費の節減を行うことを通して、支出の削減に努めております。

次に、資料9-2「指定管理者総合評価シート」をご覧ください。「1 基本情報」については、ご覧のとおりでございます。

次に、「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」についてご説明をいたします。まず、「1 市民の平等な利用の確保 施設の適正な管理」についてですが、「関係法令等の遵守」、「市内産業の活性化」、「公正な利用受付」について、管理運営の基準、事業計画書通りの内容を履行していることなどから、Aと評価しています。利用者アンケートの結果につきましても、満足度の高い、良好な運営が行われていたと認められることを挙げております。次に、「2 市民サービスの向上」についてでございますが、「(1) 施設・設備の貸出方法」については、スポーツ用品の貸出等、利用者の利便性向上のための施策を継続的に行っております。また、「(2) 利用者への支援」につきましては、利用者からの相談、苦情に対し適切に対応していますし、急病・傷病者発生時の対応についても適切に行われております。「(3) 利用料金」につきましても、高校生以下の料金設定やスペースを分割した貸出方法を工夫し設定するなど、利用者への支援、利便性の向上を図っていることなどからAと評価いたしました。

次に、「3 施設の効用の発揮 施設管理能力」についてですが、「(1) 利用促進方法」、



「(2) 管理体制」は、管理運営の基準や事業計画通りの内容を履行していること。「(3) 施設・備品の維持管理」については、適切な保守点検、管理を実施していること。「(4) 受託事業の効果的な実施」につきましては、管理運営の基準や事業計画通りの内容を履行していること。「(5) 自主事業の効果的な実施」につきましては、利用者の要望に対応した事業を行い、利用促進を図っていることなどからAと評価させていただいております。次に、「4 管理経費の縮減」については、震災の影響等もあり、収入についてはわずかに計画額に満たなかったものの、支出の縮減によりまして、4年間の収支合計では黒字を計上していることなどから、Aと評価しております。

最後に、総合評価につきましては、「概ね事業計画どおりの実績・成果が認められた」ものと判断しまして、Aと評価しております。以上で説明は終わります。

○横山部会長 　ただいま所管課からひと通り説明いただき、ポートアリーナの総合評価につきまして評価案が示されましたが、まず始めに、市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様から意見を伺いたいと思います。

ご質問も含めて、何かございましたらお願いします。すみません、23年度と24年度はちょっとイレギュラーな要因があったということで、実績についてはあまり参考にならないということですよ。

○安藤スポーツ振興課長 　はい、その通りです。23年度は東日本大震災による長期休館、24年度は東京体育館休館により大規模イベントが流れてきたということで、例がないことですので、通常とは違うと考えられる。

○横山部会長 　22年、25年、26年の3か年が実績と考えれば。

何かご意見等ありますか。

やっぱり、自主事業の点が物足りないなという気がしますね。収支の状況をみる限り、指定管理者制度においては、自主事業を活性化してもらおうという目的もありますから、もうちょっと頑張ってもらいたいなと思います。それに、評価としても、Bに下げるものでもないと思います。

○内山委員 　そうですね、自主事業が70%代で合格か、80%で合格かとかの基準があるのか聞きたいです。

○横山部会長 　何か基準みたいなのはあるんですか。

○安藤スポーツ振興課長 　何か基準として、何パーセントでどうかとかいう決まりはありません。

○横山部会長 　実情を踏まえた上でのご意見ということでしょうかね。まあ、及第点だろうという。

小川委員何かありますか。

○小川委員 　私も、先ほど内山委員も言われた通り、非常に財団法人頑張っていると思います。利用者からの評価もいいので、このまま継続して頑張ってもらいたいと思います。

1つ、直接関係ないんですけど、市長さんが障害者スポーツに非常に力入れてますよね。ですから、障害者スポーツ、これから東京オリンピック・パラリンピックに向けて、どんどんポートアリーナの利用回数が増えてくると思います。障害者の方は全額免除ですよ。

そしてまた、冷暖房費はかかるということで。経営的に見ていくと、障害者スポーツが普及すればするほど経営的には苦しくなると。言い方おかしいですけど。非常に良いことなんですけども、その点についてどのように考えているのかと。難しいところですけどね。

○丸島生活文化スポーツ部長 おっしゃる通り、市長は千葉市は車いすスポーツ、障害者スポーツ全般に力をいれているので、積極的に車いすだけじゃなくて、障害者スポーツを取り入れていく、その分収入は減っていきます。それはそれで行政としては従っていきしかない。ただその分、スポーツ振興財団の運営が厳しいようであれば、補助金の範囲内で、運営に支障がないような形で、障害者スポーツに力を入れていくとは思いますが。結果的に収入は減るんですが、致し方ない。ただ、積極的に力を入れていくのは東京オリンピックが1つのターンになると思います。その後どうなるかというのは、そこまでを、それまでの実績を見て判断したいと思いますが、東京オリンピックで終わりということではないですけども、そこまでを一生懸命やってみて、障害者スポーツの浸透、盛り上がりなりを、そこで一度判断したいなど。

○小川委員 ありがとうございます。

○横山部会長 話が逸れますけど、仮にセーリング、オリンピック競技が稲毛で行われる場合には、当然あそこのヨットハーバーを使うんですかね。そうするとこの指定管理者が実際にご活躍されるということになるんですか。

○丸島生活文化スポーツ部長 はい、施設管理しておりますので。

○横山部会長 ヨットハーバーは指定管理ではないんですよね。

○丸島生活文化スポーツ部長 管理許可です。

○横山部会長 谷藤委員何かありますか。

○谷藤委員 市のA評価を覆すところまではいかないですけども、割と毎年、自主事業についてはコメントを出しているんで、財団の方頑張っていると思うんですが、そこが専門の団体ですので、期待をしていただけてもう少し頑張ってもらったなとは思いますが。AをBにしる、というつもりまではありません。

○横山部会長 それだけの能力があるという考えの基、期待を込めてということですかね。織戸委員何か。

○織戸委員 財団全体につきましては、包括外部監査人の意見が出ていることですので、どこかでBをつけたいという気がするんですけど、これはあくまでも、千葉ポータアリーナの指定管理者に対する意見ということですので、特にBをつけずにこのままでいいのかなと思います。

○横山部会長 ありがとうございます。さまざまなご意見をいただきましたが、総合しますと、A評価が妥当であるとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 次に、施設のサービス水準向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思いますが。委員の皆さんから、忌憚のないご意見をお聞きしたいと思いますが、何かございましたらお願いします。公募ですよ。

- 安藤スポーツ振興課長 内部的には次期、非公募で、という方針で進みつつあります。
- 横山部会長 そうですか。それでは、実質、スポーツ振興財団がということになるんでしょうけれども。そこで、織戸委員のご意見が出せるかもしれないですね。
- 織戸委員 細かいことでいろいろ指摘事項あるようですので。ひとつひとつつぶしていただければと思います。
- 横山部会長 会計上ということですか。
- 織戸委員 会計上です。運営上ということもあります。
- 横山部会長 では、法令遵守に努めていただきたいということですね。

谷藤委員何か。

○谷藤委員 大きな複合施設で、世界大会をやれる一方で、市民の方が活動できるという意味で、様々な利用の仕方が考えられるので、その点を十分意識をして、運営していただきたいなと思います。大きな大会をする時は収入を得るとかということも含め。

先ほど、障害者スポーツの話もありましたが、出店が高いということもありましたけど、スポーツ自体だけではなく、収入の可能性があったりするので、そこらへんを加味しながら、いろんな形の施設の使い方があるということを活用して運営していただきたいなと思います。

- 横山部会長 収益事業・非収益事業問わずということですね。内山委員。
- 内山委員 20何年運営している経験や実績は相当強いものだと思うので、それを踏まえてやっていただけたらと思います。
- 小川委員 私も、先ほどから出ている自主事業をさらに充実すること、もう一つ、スポーツを含めてポートアリーナの広報活動等、積極的に誘致活動をしていただきたい。やっぱり、東京から見た場合、どうしても、さいたまスーパーアリーナ、横浜アリーナの方が場所的にも近いし、便利だということで、幕張までは行く気になるけど、地理的なハンディーキャップがあると思うんですけど、積極的に活動していただきたいと思っています。ただ、駐車料金が半額になってますよね。それは非常に評価できていると思っています。

○横山部会長 次期指定管理者の選定に向けての意見については、「魅力的な自主事業の実施や大きな大会の実施など、収入増となるよう努められたい。」「広報活動の実施に努められたい。」「障害者スポーツの普及につながる方策を検討されたい。」がありました。これらを本部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 それでは、これらを踏まえて千葉ポートアリーナの指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するというご承認いただければと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○横山部会長 ありがとうございます。施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、次期指定管理者の選定の際に充分反映していただきたいと思います。

以上で、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価についての審議は終了します。

それでは、次に、議題3の「その他」についてですが、事務局から何かありますか。

○山根市民総務課長 今後の予定について、ご説明させていただきます。

本日、委員の皆様に取りまとめていただきましたご意見などにつきましては、スポーツ部会長から、選定評価委員会の会長にご報告をいただき、その後、会長さんから市長宛てに、委員会の意見として答申をしていただくという流れになります。この委員会の答申を受けまして、各施設所管課が、委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、9月上旬に、市ホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者に通知いたします。また、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同様に市ホームページで公開することとなります。公表の時期等が決まり次第、委員のみなさまにはご報告をさせていただきます。

なお、今回の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○横山部会長 はい、ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明について、何かご質問、ご意見はございますか。

よろしいでしょうか。その他何かございますでしょうか。

(なし)

○横山部会長 では、皆様方のご協力によりまして、本日の議事は、すべて終了しました。ありがとうございます。それでは、事務局にお返しいたします。

○佐久間市民総務課長補佐 長時間にわたり、慎重なご審議、ありがとうございます。以上をもちまして、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回スポーツ部会を閉会いたします。

なお、次回の会議は、5月26日(火)の第2回スポーツ部会となります。会議の開催場所はこちらコミュニティセンターではなくて、向かいの建物の千葉市議会棟3階の第2説明員控室で、13時開会の予定でございますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、委員の皆様、本日は、お忙しい中、ありがとうございます。